

第 68 回 緑化推進運営協議会

議 案 書

と き 令和 8（2026）年 5 月 27 日（水）

オンライン開催



公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会

目 次

1. 第 1 号議案

令和 7(2025)年度「緑の募金」事業報告について	P1
----------------------------	----

2. 第 2 号議案

令和 7(2025)年度「緑の募金」収支決算について	P15
----------------------------	-----

巻末資料

- ・ 令和 8(2026)年度 「緑の募金」 事業計画（参考資料）
- ・ 貸借対照表（案）（2026 年 3 月 31 日現在）
- ・ 正味財産増減計算書内訳表（案）（2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで）
- ・ 次期繰り越し収支差額についての資料

令和 7(2025) 年度「緑の募金」事業概要

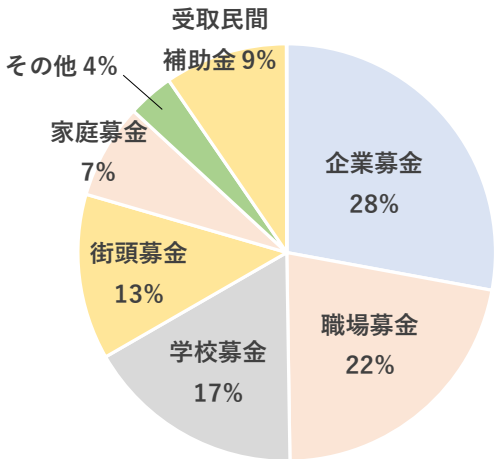
〔 予算 収入 17,320 千円、支出 17,320 千円
決算 収入 16,137 千円、支出 16,141 千円 〕

I. 収入の部

令和 7 (2025) 年度の緑の募金事業収入総額は、予算 17,320 千円に対し、16,137 千円となった。
(受取民間補助金 1,539 千円、雑収益 4 千円を含む)

内訳は次の表、グラフのとおりである。

令和 7 (2025) 年度収入の内訳	
種類別	金額 (千円)
企業募金	4,500
職場募金	3,529
学校募金	2,732
街頭募金	2,070
家庭募金	1,188
その他	575
受取民間補助金	1,539
雑収益	4
合計	16,137



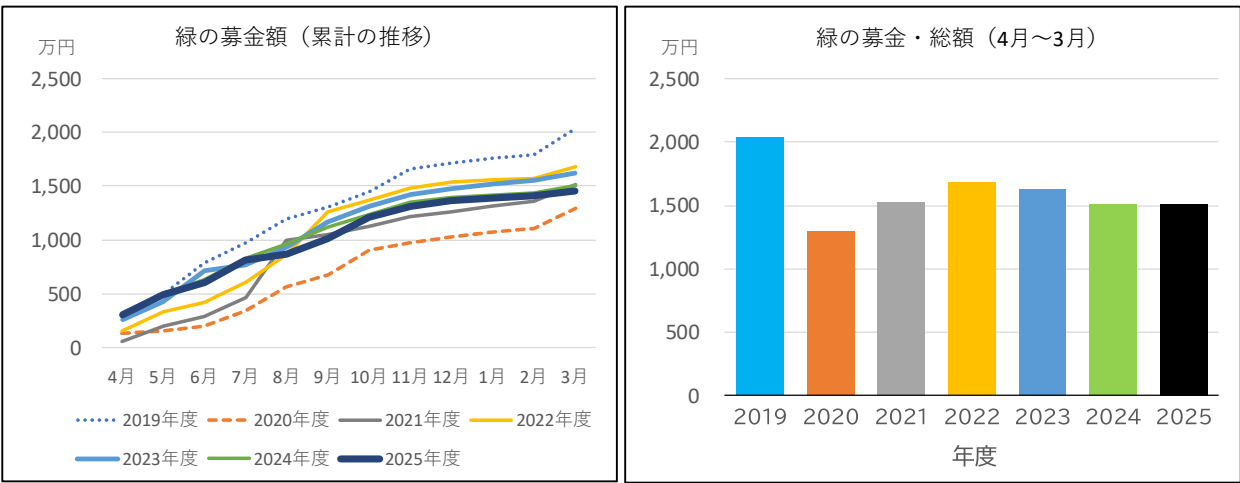
みどりの募金の内訳

※円グラフは、割合が 0% の科目は表示していない

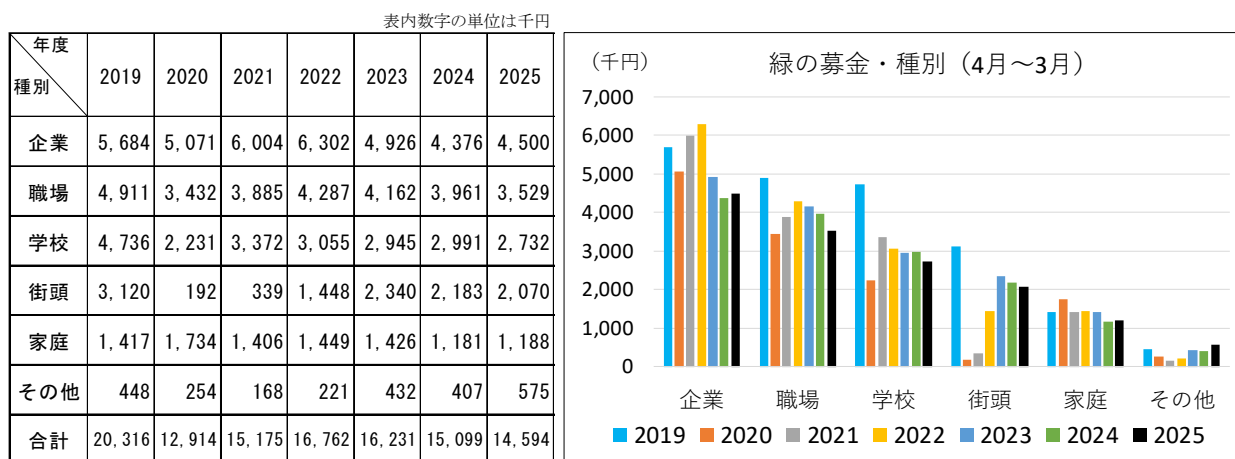
1. 緑の募金実績(予算 15,600 千円、決算 14,594 千円)

2025 年度の年間募金総額は 14,594 千円 (前年比 97%) となった。

2020 年以降、新型コロナウイルス感染症の影響により募金額が大きく減少し、その後、回復傾向がみられたが、近年は減少傾向または横ばい傾向である。



種別に募金額の推移をみると、企業募金は有料レジ袋の収益金の一部からなる寄付の減少（原料・加工費の高騰による）を反映して 2020 年度から 2024 年度まで大きく減少したが、2025 年度は新規の企業寄付などがあり、わずかに増加した。職場募金、学校募金、街頭募金はコロナ禍以降回復傾向を示したが近年は減少が続いている。「その他」の内訳は、イベント参加者からの募金、個人からの募金、キャンペーン期間中に設置した ATC ビル募金箱、PayPay キャッシュレス募金であり、前年に比べわずかに増加した。



2. 助成金等収入、雑収入など(予算 1,720 千円、決算 1,543 千円)

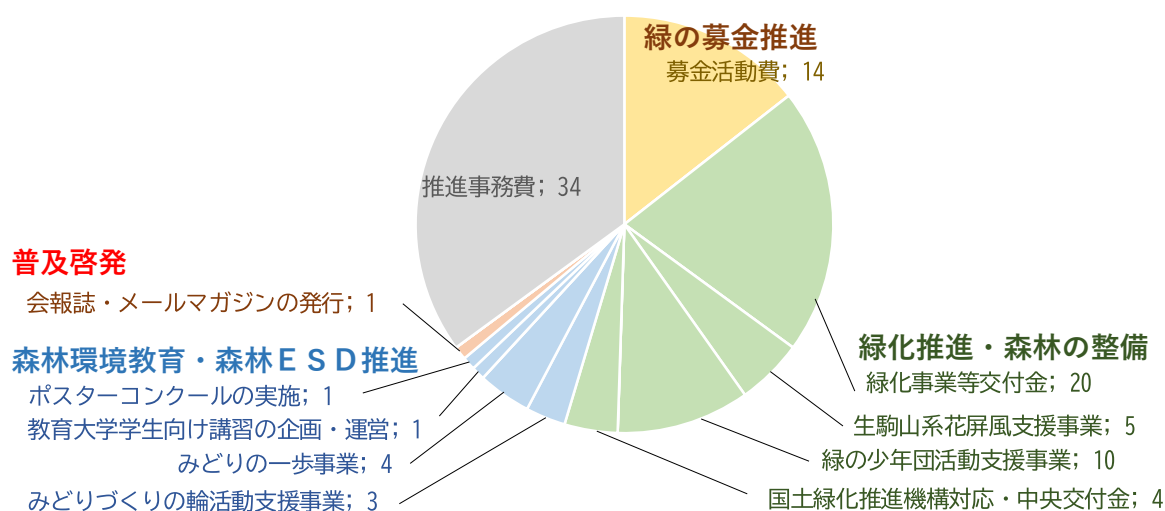
緑の募金事業の収入としては、前項の募金収入の他、民間補助金として国土緑化推進機構から、緑の少年団活動に対する助成金 811 千円、みどりの一歩事業に対する助成金 727 千円があった。また、雑収入 4 千円があった。

Ⅱ. 支出の部

令和 7（2025）年度の事業支出総額は 16,141 千円となった。その内訳は次の表、グラフのとおりである。

科 目		金額(千円)	割合(%)
緑の募金推進事業	募金活動費	2,310	14
	募金拡大	36	0
緑化推進・ 森林の整備事業	緑化事業等交付金	3,185	20
	堺第 7－3 区「共生の森づくり」推進費	56	0
	生駒山系花屏風支援事業	865	5
	緑の少年団活動支援事業	1,544	10
	緑化推進運営協議会の運営	10	0
	募金・緑化功労者の表彰	18	0
	国土緑化推進機構対応・中央交付金	596	4
森林環境教育・ 森林 E S D 推進事業	みどりづくりの輪活動支援事業	486	3
	みどりの一歩事業	705	4
	森林環境教育・ESD 推進	78	0
	教育大学学生向け講習の企画・運営	139	1
	ポスターコンクールの実施	236	1
普及啓発事業	会報誌の発行・メールマガジンの発行	132	1
	ホームページ・SNS の運営	80	0
	普及啓発イベントへの参加	71	0
	その他	72	0
推進事務費	推進事務費	5,522	34
合計		16,141	97

※ 割合（％）は項目ごとに少数第 1 位を四捨五入しているため合計が 100％にならない。



※ 円グラフは、割合が 0% の科目は表示していない。数値はパーセンテージを示す。

1. 緑の募金推進事業(予算 2,172 千円、決算 2,347 千円)

(1) 募金活動推進(予算 2,167 千円、決算 2,310 千円)

【計画】

2025 年度の募金目標額を 15,600 千円とし、以下の団体へ協力依頼し、街頭募金、学校募金、家庭募金、職場募金、企業募金等の募金を呼びかける。

種別	協力団体
街頭募金	日本ボーイスカウト大阪連盟、(一社)ガールスカウト大阪府連盟、大阪府緑の少年団連盟
学校募金	各市町村教育委員会、大阪私立中学校高等学校連合会 他
家庭募金	大阪府内 43 市町村
職場募金 企業募金等	大阪府、大阪府警察本部、近畿中国森林管理局、大阪商工会議所、大阪府木材連合会、大阪商工信用金庫、大阪府生活協同組合連合会、大阪いずみ市民生活協同組合、ダイドードリンコ(株) 他

募金キャンペーン期間を設け、各団体による街頭募金を集中的に実施するとともに、府内各地で行われる各市町村や各種団体等の緑化関連イベント等で緑の募金活動を強化し、周知を図る。

＜キャンペーン期間＞ ・春季 2025 年 3 月 1 日～5 月 31 日
・秋季 2025 年 9 月 1 日～10 月 31 日

＜募金資材の整備＞

緑の募金運動および普及啓発の円滑な推進を図るため、2025 年秋用および 2026 年春用の募金資材を整備し活用する。

ただし募金収入の予測と、資材の価格高騰を受けて、例年春と秋に製作しているオリジナルのピンバッジは、2025 年秋用については製作を取り止め、過去のバッジの活用を協力団体をお願いし、2026 年春用 1 回の製作とする。

また、資材配布時の配送料高騰を受け対策を検討する。

【実績】

街頭募金、学校募金、家庭募金、職場募金、企業募金等の募金を呼びかけた。

＜キャンペーン期間＞

・春季 2025 年 3 月 1 日～5 月 31 日 ・秋季 2025 年 9 月 1 日～10 月 31 日



大阪府庁舎本館



大阪府庁舎別館



ATC

緑の募金運動および普及啓発の円滑な推進を図るため、2025 年秋用および 2026 年春用の募金資材を整備した。(緑の羽根、緑化バッジ、P R チラシ、ポスター、募金箱)

2026 年春用の緑化バッジは、「タンポポ」をモチーフに作製した。デザインは継続的に大阪府立港南造形高等学校の協力を得て、同校生徒によるデザイン画の中から選考会を経て、最優秀賞のデザインを採用した。

資材の価格・配布時の配送料の高騰により、チラシのサイズ・紙厚を見直し、A4 サイズから A5 サイズに変更した。

2025 年から再生紙利用の「しおり」の配布を継続している。再生紙製造販売企業の資材提供をうけて作成しているもので、緑の募金がどのように活用されているかを掲載しているホームページに誘導できるように QR コードを掲載している。



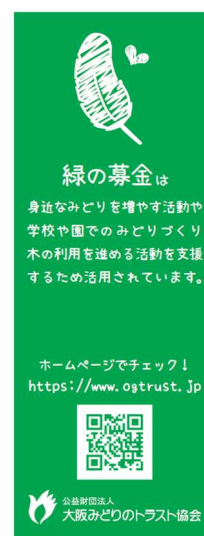
2026 年バッジ
タンポポ



2026 年春用バッジデザイン選考会



再生紙利用のしおり（両面印刷）



(2) 募金拡大(予算 5 千円、決算 36 千円)

【計画】

近年、企業からの問い合わせや寄付企画の申し込みが増えつつあり、各企業のニーズに合わせた積極的な対応を行い、協力企業の拡大に努める。

また、現在、家庭募金は募金総額の約 8%にとどまっているため、家庭募金を行っている市や、他府県の事例を参考にして取り組み方法を検討し、大阪府の協力も得ながら市町村への協力依頼を進める。

WEB から募金ができる「つながる募金」や家庭に眠る物品の寄付(お宝エイド)物品寄付や遺贈による寄付等、募金方法の多様化に向けた仕組みづくりに取り組み、ホームページやイベント等で周知し、普及啓発を図る。

キャッシュレス募金については、(公社)国土緑化推進機構とともに導入に向けた取り組みを進める。

【実績】

緑の募金の情報発信を幅広く進めるため、大阪に本拠地を置くプロラグビーチーム「レッドハリケーンズ大阪」とのコラボレーションを進め、2026 年 1 月 17 日の公式戦（ヤンマースタジア

ム長居)において緑の募金ブースを出展し、公式チームキャラクターのハリー君と緑の募金のコラボ缶バッジの配布と募金活動を行った。



1万人を超える多くの入場者があったスタジアムでラグビー選手の協力も得て緑の募金をアピールした

企業の環境貢献、生物多様性保全への関心の高まりを背景に、協会のホームページをみた企業からの新規の寄付があり、企業募金は前年に比べわずかに増加した。

募金方法の多様化を進めるため、WEBから募金ができる「つながる募金」※1や家庭に眠る物品の寄付「お宝エイド」※2、2020年より開始した遺贈募金(JELF「みどりの遺言」プロジェクト)を継続している。

2024年8月からキャッシュレス決済PayPayによる募金ができるようになったため、募金箱やチラシ、ポスターにPayPayのQRコードを貼り付けるなどの活用を進めた。



募金箱に貼り付けたPayPayのQRコード



音楽集団 ANKAA のコンサート会場における募金が2020年から継続しており、直近3年間の募金額が一定額を越えたため、国土緑化推進機構より感謝状が贈呈された。

※1 つながる募金:ソフトバンク契約者が携帯料金支払い時に募金もできる仕組みで、ソフトバンク契約者以外もインターネットから募金できる。

※2 お宝エイド:不用品を回収業者へ送ってもらい、買い取られた金額の一部が募金となる仕組み。



大阪府から配信するホームページ「生物多様性くらしナビまいのち」に掲載中の記事

2. 緑化推進・森林の整備事業(予算 6,520 千円、決算 6,274 千円)

(1) 緑化事業等交付金(予算 3,400 千円、決算 3,185 千円)

【計画】

募金活動に協力した団体や学校、企業による地域や学校の緑化を推進するため、集められた募金額の 40%を上限に、該当団体の申請に基づき緑化事業等交付金を交付する。

【実績】

2025 年 2 月～2026 年 1 月募金振込分まで 284 件 3,110,532 円を交付した。(参考：2024 年 2 月～2025 年 1 月募金振込分まで 295 件 3,090,008 円)



交付金を利用した緑化の例

(2) 堺第7-3区「共生の森づくり」推進 (予算 102 千円、決算 56 千円)

【計画】

地球温暖化防止にかかる運動の一環として、堺第 7-3 区における市民・NPO 等が参加して実施されている「共生の森づくり」活動へ助成を行う。

【実績】

「第 2 回共生の森育樹祭」(2026 年 3 月開催) に対し助成した。

(3) 生駒山系花屏風活動支援事業 (予算 734 千円、決算 865 千円)

【計画】

生駒山系を屏風に見立てて彩豊かな“花屏風”を作る「生駒山系花屏風活動支援事業」への助成を行う。同事業を推進する生駒山系森づくりサポート協議会の活動や主催行事に参加し、緑の募金の PR を行う。

【実績】

植樹活動、生き物の保全・育成、自然観察会や野外体験学習活動、森林保全等のボランティアを養成する活動等、生駒山系花屏風構想の普及啓発に資する活動への助成を行っている。今年度は 10 団体への助成を行った。



花屏風ハイキング風景



ハイキングゴール地点での募金活動

(4) 緑の少年団活動支援事業(予算 1,500 千円、決算 1,544 千円)

【計画】

大阪府内の緑の少年団に対して活動助成を行うとともに、「子どもたちが緑や自然に触れ、森林や緑化に関する意識を高める」という目的に沿った連盟の運営・交流行事の開催が行われるよう、各団の自立を促しつつ大阪府緑の少年団連盟事務局として支援する。

【実績】

連盟所属の4団に対して活動助成を行った。また、交流集会を万博記念公園（吹田市）で開催し（11/23）、73名（団員36名、大人37名）が参加した。今回は大井和（おおはが）緑の少年隊（岡山県）からの参加もあり、地域を超えて交流した。

大阪府内の緑の少年団連盟事務局として総会（7/24）を実施した。



交流集会



総会

(5) 緑化推進運営協議会の運営(予算 23 千円、決算 10 千円)

【計画】

緑の募金の適切な運用を図るため有識者からなる緑化推進運営協議会を年2回以上開催する。

【実績】

第66回緑化推進運営協議会を5月27日にオンラインで開催し、第67回を2026年2月24日に対面で開催した。

(6) 募金・緑化功労者の表彰(予算 4 千円、決算 18 千円)

【計画】

募金額をもとに感謝状を贈呈する団体を（公社）国土緑化推進機構に推薦する。

「大阪府みどりの功労者表彰」等、各種の表彰主催団体からの依頼をうけて推薦対象を選出し、推薦資料を作成・提出する。

【実績】

3年間の募金額をもとに、6団体を（公社）国土緑化推進機構に推薦し、感謝状を贈呈した。

表彰名	贈呈基準 (3年間の募金額合計)	感謝状が贈呈された団体名
林野庁長官賞	団体 200 万円以上 個人 100 万円以上	株式会社平和堂、大阪府警察有志一同、大阪商工信用金庫有志一同
国土緑化推進機構理事長賞	団体 50 万円以上 個人 30 万円以上	ダイドードリンコ株式会社、ANKAA、エネクスフリー株式会社



大阪商工信用金庫 様



A N K A A 様



ダイドードリンコ株式会社
近畿営業部 様

自然環境保全活動や緑化等に功績のあった3団体を推薦し、表彰された

表彰名 (主催団体)	趣旨・対象	表彰された団体	評価された内容
大阪府みどりの 功労者 (大阪府)	緑化の推進、自然 環境の保全及び 森林の保全に功 績のあった個人 または団体	車作里山倶楽部 (茨木市)	安威川ダム公園の北部に位置する車 作地区の豊かな自然環境を育む里山 保全活動及び食害に遭い壊滅状態と なった希少な野草キツネノカミソリ の再生保護活動等の功績。
「みどりの日」 自然環境功労者 環境大臣表彰 (環境省)	自然環境の保全 に関して顕著な 功績があった個 人または団体	紫金山みどりの 会 (吹田市)	継続的な里山保全活動により地域の シンボルとなる植物の生育環境を持 続させ、近年は北千里・水遠池(ずい おんいけ)の湿地回復作業も開始し、 地域の自然環境を守る活動に尽力し た功績。
「ふれあいの森 林づくり」優良 団体 (（公社）国土緑 化推進機構)	農山村と都市と の連携・交流など を図りながら森 林整備を行い、ふ れあいの場創出 に功績があった 団体	特定非営利活動 法人日本森林ボ ランティア協会	森林ボランティア指導者養成事業を 継続し、都市住民等の森林づくりへ の参加を促し、大阪府、兵庫県、京都 府、奈良県、和歌山県の活動地におい て、地元の活動団体や地元住民との 協働による森づくりを展開した功 績。



「大阪府みどりの功労者」表彰
車作里山倶楽部



「みどりの日」自然環境功労者
環境大臣表彰
紫金山みどりの会



「ふれあいの森林づくり」優良団体表彰
特定非営利活動法人
日本森林ボランティア協会

(7) 国土緑化推進機構対応・中央交付金(予算 757 千円、決算 596 千円)

【計画】

(公社) 国土緑化推進機構に対して、中央交付金(広域的な森林整備や緑化の推進に活用される)として緑の募金の2%相当額に250千円を加えた額を交付する。

【実績】

中央交付金は算定方法の変更があり、2025 年から「緑の募金の2%相当額に100千円を加えた額」に減額された。2025 年1月から12月の募金額をもとに3月に支出した。

3. 森林環境教育・森林 ESD の推進(予算 1,982 千円、決算 1,643 千円)

(1) みどりづくりの輪活動支援事業(予算 688 千円、決算 486 千円)

【計画】

次世代を担う子どもたちが生物多様性や森林整備、木材の利用等について理解を深める機会となる活動の促進を図ることを目的に、子どもたちの参加による自然環境保全活動や緑化活動、森林整備活動、森林に関する学習等に助成を行う。また、これらの活動組立てや整備計画立案にあたり、専門家による助言を得られるよう、専門家の紹介や相談時の費用助成等の支援を行う。

【実績】

計画は4件としていたが、募金額の減少に応じて採択件数を3件とした。

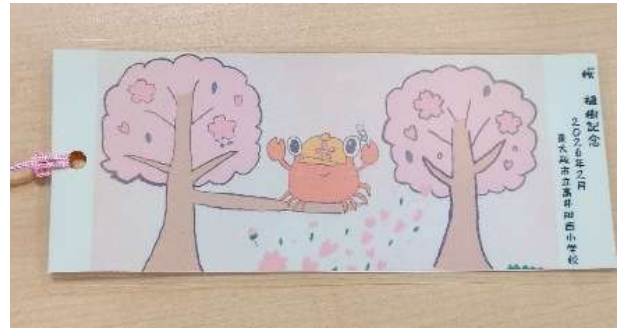
- ・助成事業申請件数7件、採択3件
- ・専門家派遣2件、うち1件は助成事業申請辞退、1件は助成事業採択後派遣

採択団体名	活動の概要
学校法人白頭学院 建国小学校	幼小中高生によるバタフライガーデン整備、エコトープ整備、ビオトープ修繕
東大阪市立高井田西小学校	憩いの場づくり(ツツジの移植、サクラ等の植樹、ベンチ・テーブル制作など)
ガールスカウト大阪府第137団	植林、育林、里山活動(耕作放棄地でのアサギマダラ観察、野菜作り)



募集チラシ

学校法人白頭学院 建国小学校
の活動の様子



東大阪市立高井田西小学校の活動の様子



ガールスカウト大阪府第137団の活動の様子

(2) みどりの一步事業(予算 870 千円、決算 705 千円)

【計画】

幼稚園、保育園、こども園等で身近なみどりづくり（植樹）と環境教育「みどりの教室」を行う。

【実績】

申請 14 件、採択 4 件

採択園	所在地	植樹内容	参加者数
矢田北保育園	大阪市東住吉区	ビワ	園児・職員 39 名
くるみ共同保育園	羽曳野市	ヤマザクラ、ヤマモモ、レモン、クワなど	園児・学童生約 50 名
しおあなの森保育園	堺市堺区	シマトネリコ、ゲッケイジュ	園児・保護者 91 名
鶴見学園	大阪市鶴見区	カラタネオガタマ	園児・職員 74 名

鳥居たちへ「みどり」のプレゼント

植樹とみどりの教室

みどりの教室とは、幼稚園、保育園、こども園等の教育施設で、園児・職員・保護者などと一緒に、身近なみどりづくり（植樹）と環境教育「みどりの教室」を行う。この事業は、環境教育の推進を図るため、環境省の委託を受けて実施されている。

目的

- ① 子どもたちに身近な緑を植える機会を提供し、環境教育の推進を図る。
- ② 「みどりの教室」を通じて、子どもたちに環境教育の楽しさを伝える。

実施内容

- ① 緑化の推進：子どもたちに身近な緑を植える機会を提供し、環境教育の推進を図る。
- ② 「みどりの教室」：子どもたちに環境教育の楽しさを伝える。

2025年度実施スケジュール

【実施期間】2025年4月～2025年10月

【実施場所】大阪市東住吉区、羽曳野市、堺市堺区、大阪市鶴見区

【お問い合わせ先】環境局 環境教育課

TEL: 06-6677-0388 FAX: 06-6677-0389

〒595-8501 大阪市東住吉区高井田西1-1-1



植樹の様子



緑の教室の様子

募集チラシ

(3) 森林環境教育・ESD 推進(予算 68 千円、決算 78 千円)

【計画】

大阪府立中央図書館・林野庁近畿中国森林管理局等と連携し、森林環境教育・森林 ESD の普及啓発を目的としたパネル展等を実施する。

【実績】

大阪府立中央図書館（東大阪市）にて、4/24～ 5/6 の期間中、令和 7 年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの大阪での入賞作品の展示とともに、「子どもたちにもっとみどりを～緑の募金を活用したみどりづくりや木の利用を進めるための活動支援紹介」パネル展示を行った。

また、近畿中国森林管理局「森林（もり）のギャラリー」（大阪市北区）にて 7/7～7/30 の期間中、同様の展示を行った。



大阪府立中央図書館展示の様子



近畿中国森林管理局
「森林（もり）のギャラリー」展示の様子

(4) 教育大学学生向け講習の企画・運営(予算 130 千円、決算 139 千円)

【計画】

大阪教育大学、大阪森林インストラクター会等と連携し、教育大学学生を対象に森林 ESD を体験する講習を実施する。

【実績】

大阪森林インストラクター会と連携し、大阪教育大学において、「図画工作」授業の時間を活用し、1 回生の学生延べ 90 名を対象に「どこでもできる森林 ESD 体験講座」を実施した。



「どこでもできる森林 ESD 体験講座」の様子

(5) ポスターコンクールの実施(予算 226 千円、決算 236 千円)

【計画】

国土緑化運動を推進するためのポスター原画コンクールに参加し、優秀作品を選出し表彰する。

【実績】

(公社)国土緑化推進機構が実施する「令和8年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」に17校/93点(参加総数318点 ※1校につき応募は10点まで)の応募があった。9/26の審査会にて優秀作品を選び推薦した。結果、中央審査会にて1名が入賞した。大阪みどりのトラスト協会賞13名。



【中学校の部】入選
国土緑化推進機構理事長賞
大阪市立花乃井中学校1年
木田 直太さん
「夏の木漏れ日」

4. 普及啓発事業(予算 396 千円、決算 356 千円)

(1) 会報誌・メールマガジンの発行(予算 154 千円、決算 132 千円)

【計画】

前年度の事業報告と当該年度の事業計画をわかりやすく編集した年次報告書形式の会報誌「アニュアルレポート」を年1回7月頃に発行する。イベント情報や保全活動地の様子、緑の募金の活用方法等をまとめたメールマガジンを、会員や関係する団体や個人に月1回のペースで定期的に配信する。

【実績】

会報誌「ANNUAL REPORT 2024 (みどりのトラスト108号)」を発行した(7月)。メールマガジンは、月に1回、約600の団体や個人に定期配信し、最新の話題提供とホームページへの誘導を促した。

(2) ホームページ・SNSの運営(予算 79 千円、決算 80 千円)

【計画】

ホームページ、SNS(Facebook及びInstagram)は会報誌やメールマガジンと連動させて、緑の募金のキャンペーン情報や助成事業についてタイムリーにお知らせする。また募金を活用して行われた事業の報告等を随時更新する。

【実績】

ホームページ、SNS、メールマガジンを活用し、緑の募金のキャンペーン情報や助成事業等について情報発信を行った。

(3) 普及啓発イベントへの参加(予算 98 千円、決算 71 千円)

【計画】

緑の募金を活用して進める「生物多様性の保全」、「木材の利活用促進」、「森林ESDの推進」等に関する府民の理解を深め、緑の募金への協力を呼び掛けるため、関連イベントへ出展しパネル展示等を行う。

イベント等の情報発信として、大阪府から配信するホームページ「まいのち」（2025 年 4 月から公開）や、「おおさか生物多様性応援宣言団体」のメーリングリストを活用する。

【実績】

当協会が行うシンポジウム・観察会等のイベント時や、地域のイベント等で、緑の募金への協力の呼び掛けと協会事業の PR を行った。

- ・和泉市みどりのフェスタ（5/11）
- ・大阪損害保険代理業協会総会（5/21）
- ・全国木材産業振興大会（9/4）
- ・おおさかのせてっぺんフェスティバル（10/4）
- ・水都おおさか森林の市（10/26）
- ・枚方市環境フェスタひらエコまつり（10/26）
- ・生駒山系花屏風ハイキング（11/8） など



和泉市みどりのフェスタ



水都おおさか森林の市



大阪損害保険代理業協会総会



全国木材産業振興大会

（4）その他(予算 65 千円、決算 72 千円)

【計画】

編集ソフトの年間使用料。

【実績】

ホームページ、会報誌、チラシ等の作成・編集の内製化において編集ソフトを活用した。

5. 推進事業体制の整備(予算 6,250 千円、決算 5,522 千円)

【計画】

緑の募金事業推進に伴う事務所経費および人件費等、必要な事務的経費を支出する。

【実績】

事務所経費、人件費等を支出した。

令和7(2025)年度「緑の募金」収支決算について

単位：円

項 目	2025年度 予算額	2025年度 決算額	差異	2024年度 決算額	備考
	(A)	(B)	(B) - (A)	参考	
I 収入の部					
1. 緑の募金収入	15,600,000	14,593,988	△ 1,006,012	15,098,727	
2. 助成金等収入（受取受託金）	0	0	0	50,000	
3. 運用財産利息収入	0	0	0	0	
4. 民間補助金	1,720,000	1,538,628	△ 181,372	693,903	緑の少年団811千円、みどりの一歩727千円
5. 雑収入	0	4,374	4,374	1,483	
当期収入合計（A）	17,320,000	16,136,990	△ 1,183,010	15,844,113	
前期繰越収入差額（B）	△ 4,237,000	△ 4,238,675	△ 1,675	△ 4,236,785	
収入合計（C）＝（A）＋（B）	13,083,000	11,898,315	△ 1,184,685	11,607,328	
II 支出の部					
1. 緑の募金推進事業					
募金活動費	2,167,000	2,310,196	143,196	2,026,718	資材費値上、追加補充
募金拡大	5,000	36,492	31,492	1,854	
小計	2,172,000	2,346,688	174,688	2,028,572	
2. 緑化推進・森林の整備事業					
緑化事業等交付金	3,400,000	3,184,915	△ 215,085	3,176,595	募金額に相応、募金額の約22%
堺第7－3区「共生の森づくり」推進	102,000	56,265	△ 45,735	78,210	
生駒山系花屏風支援事業	734,000	864,621	130,621	725,345	使途指定募金額に相応
緑の少年団活動支援事業	1,500,000	1,543,920	43,920	1,013,060	
緑化推進運営協議会の運営	23,000	10,300	△ 12,700	23,940	
募金・緑化功労者の表彰	4,000	18,098	14,098	510	
国土緑化推進機構対応・中央交付金	757,000	595,935	△ 161,065	750,965	中央交付金算定方法の変更、減額
小計	6,520,000	6,274,054	△ 245,946	5,768,625	
3. 森林環境教育・森林ESD推進事業					
みどりづくりの輪活動支援事業	688,000	485,561	△ 202,439	778,114	募金額に応じて採択件数を3件とした
みどりの一歩事業	870,000	705,305	△ 164,695	693,903	民間補助金に相応
森林環境教育・ESD推進	68,000	78,136	10,136	58,911	
教育大学学生向け講習の企画・運営	130,000	138,660	8,660	107,039	
ポスターコンクールの実施	226,000	235,619	9,619	241,556	
小計	1,982,000	1,643,281	△ 338,719	1,879,523	
4. 普及啓発事業					
会報誌・メールマガジンの発行	154,000	131,701	△ 22,299	141,203	
ホームページ・SNSの運営	79,000	80,265	1,265	84,292	
普及啓発イベントへの参加	98,000	71,339	△ 26,661	104,907	
その他	65,000	72,242	7,242	64,982	PCソフトライセンス料等
小計	396,000	355,547	△ 40,453	395,384	
5. 推進事務費	6,250,000	5,521,559	△ 728,441	5,773,899	
当期支出合計（D）	17,320,000	16,141,129	△ 1,178,871	15,846,003	
当期収支差額（A）－（D）	0	△ 4,139	△ 4,139	△ 1,890	
次期繰り越し収支差額（C）－（D）	△ 4,237,000	△ 4,242,814	△ 5,814	△ 4,238,675	

次期繰り越し収支差額について(過年度からの経緯の説明)

2015 年度までの累積赤字が 4,241 千円に達し、これを解消するため、2016 年度に 3,207 千円の黒字を出したものの、監督官庁より「過年度の赤字を次年度以降の黒字で埋め合わせてはいけない」との指摘があり、2017 年度以降は、2016 年度の黒字を解消するように、単年度で赤字となる予算を組んできました。

2023 年度に過年度の黒字を解消したため、以降は累積赤字であるマイナス約 420 万円を繰り越しつつ、単年度での収支均衡をはかることとなっています。

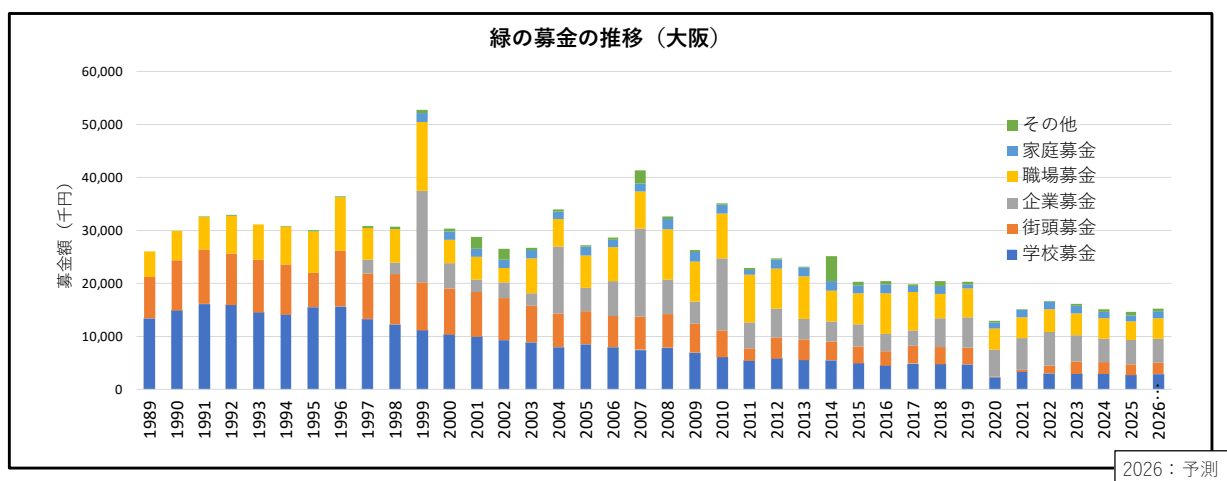
令和 8(2026)年度「緑の募金」事業計画

緑の募金収入の予測

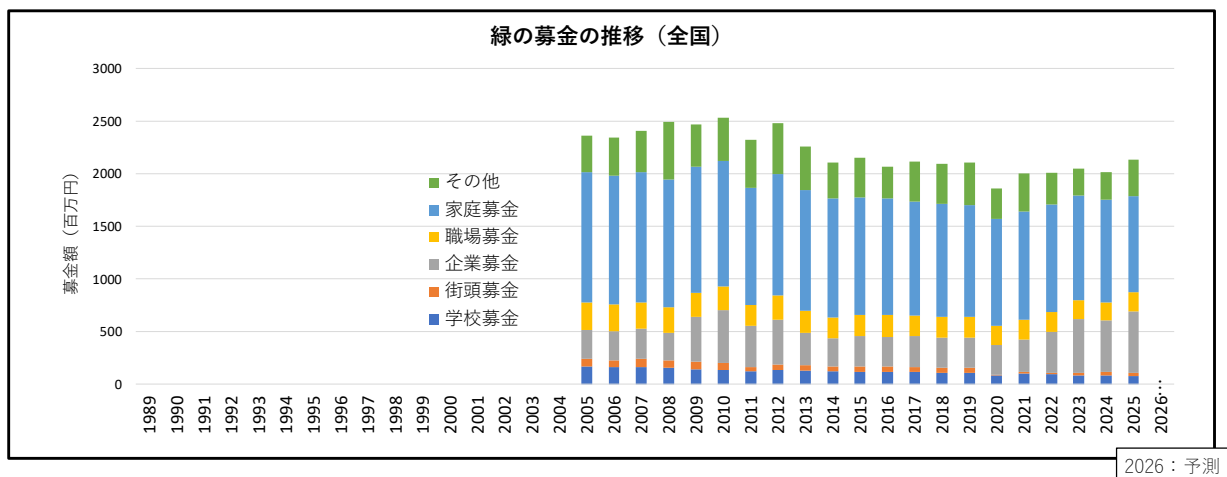
1989 年からの大阪の緑の募金の推移を下図に示す。(参考として、全国の推移も添付した。)

2020 年以降コロナ禍の影響をうけ募金額が大きく減少し、その後回復傾向がみられたものの、近年は減少または横ばい状況である。近年の震災や水害をうけて募金に対する市民意識の向上はみられるが、同時に募金先の多様化も進んでおり、街頭募金や家庭募金についても大幅な増加を見込むことは難しいと予測する。環境貢献の取組が高まりつつある企業募金の拡大をはかり、募金額の減少に歯止めをかけ、増加に転じることを中長期的な目標とする。(大阪みどりのトラスト協会中期経営計画 R8～R10 (案) の目標)

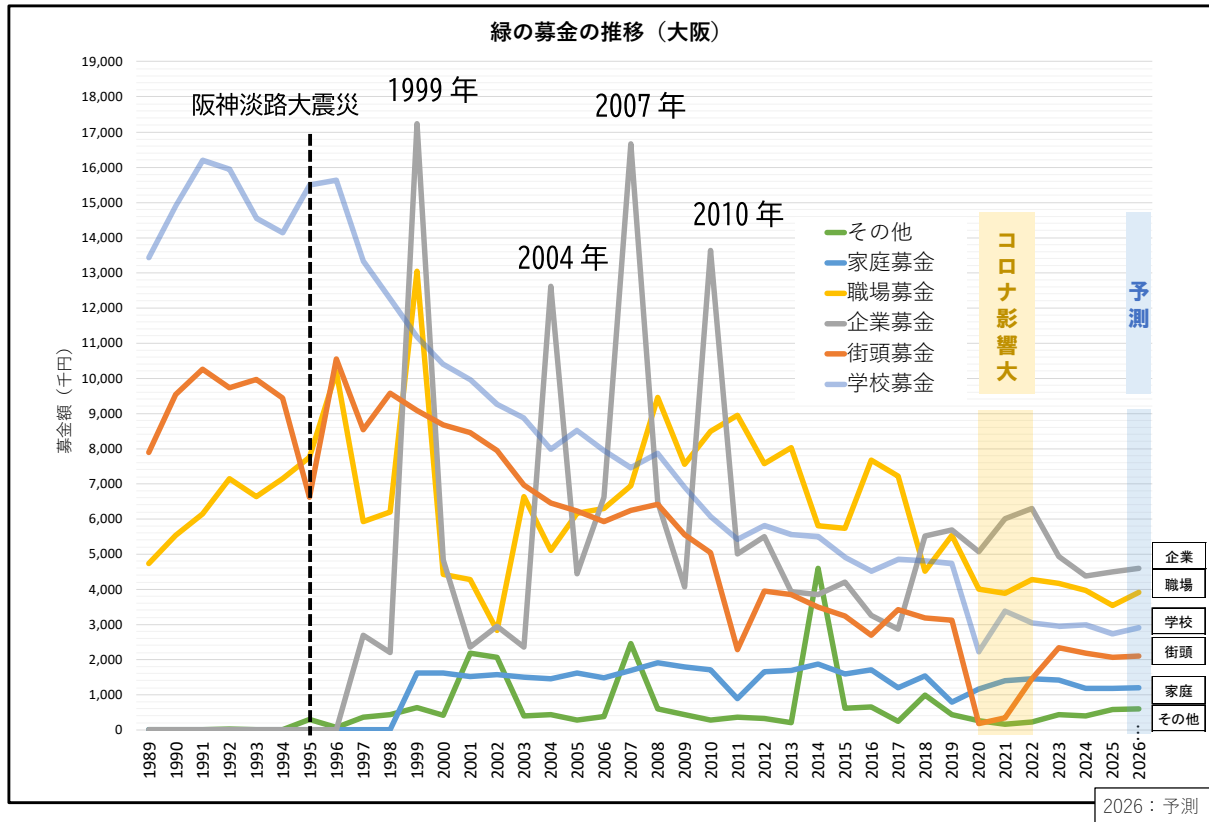
2026 年度の募金収入は 2025 年度見込みを少し上回る 15,300 千円（前年比 101%）と予測し、これをもとに事業を計画した。



参考：全国の緑の募金の推移



1989 年からの緑の募金実施主体別（種別）の推移を下図に示す。



※企業募金が突出した年の要因は次のとおり

1999（平成 11）年度：第 23 回全国育樹祭が大阪で開催された。詳細な資料は見つからないが、育樹祭への寄付があったと推察される。

2004（平成 16）年度：全労災大阪府本部・大阪労災創立 50 周年を記念し、公園・学校、府立施設の緑化に対する助成事業が行われた。それに伴い大口の寄付があった。

2007（平成 19）年度：木材関係企業と金融機関から大口の寄付があった。

2010（平成 22）年度：木材関係企業から大口の寄付があった。

2026 年度の予測について

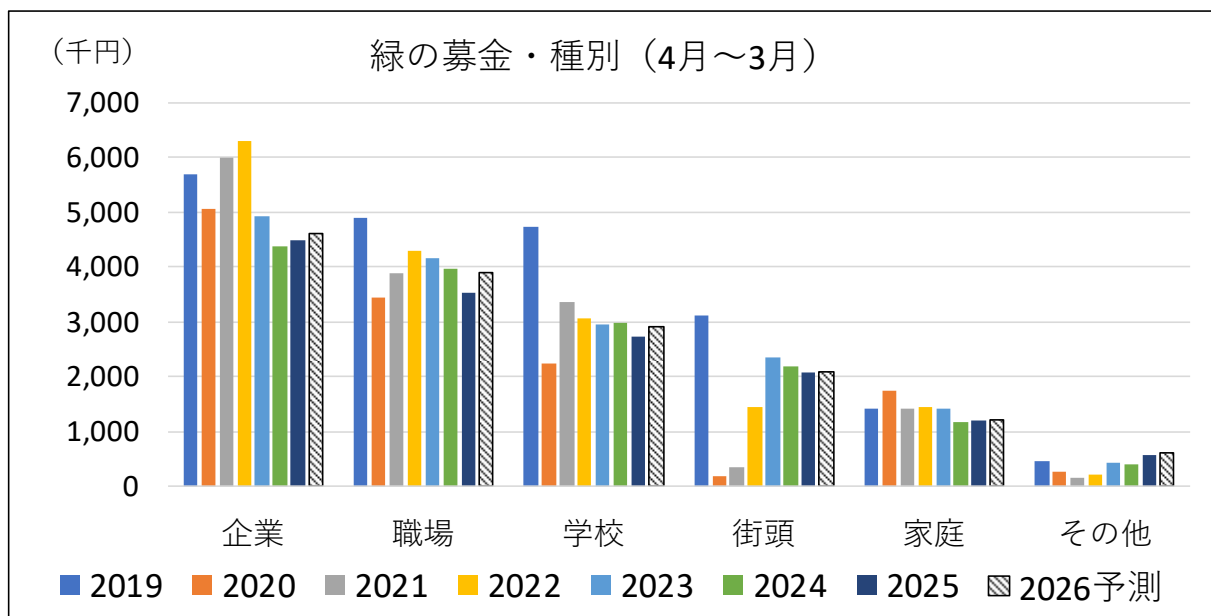
種別	2026 年度の予測
企業	企業の環境貢献取組の高まりを見込み 10 万円の増加を予測する。
職場	減少傾向がみられるが、前年同様の推移を予測する。
学校	減少傾向がみられるが、前年同様の推移を予測する。
街頭	減少傾向がみられるが、前年同様の推移を予測する。
家庭	増加要因が見込めず、前年同様の推移を予測する。
その他	増加要因が見込めず、前年同様の推移を予測する。

コロナ前

コロナ影響大期間

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026予測
企業	5,505	5,684	5,071	6,004	6,302	4,926	4,376	4,500	4,600
職場	4,524	5,530	4,007	4,528	4,895	4,162	3,961	3,529	3,900
学校	4,809	4,736	2,231	3,372	3,055	2,945	2,991	2,732	2,900
街頭	3,173	3,120	192	339	1,448	2,340	2,183	2,070	2,100
家庭	1,539	798	1,159	763	841	1,426	1,181	1,188	1,200
その他	985	448	254	168	221	432	407	575	600
合計	20,535	20,316	12,914	15,175	16,762	16,231	15,099	14,594	15,300

(千円)



1. 緑の募金運動推進事業(予算 2,225 千円)

(1) 募金活動の推進(予算 2,205 千円)

2026 年度の募金目標額を 15,300 千円とし、以下の団体へ協力依頼し、街頭募金、学校募金、家庭募金、職場募金、企業募金等の募金を呼びかける。

種別	協力団体
街頭募金	日本ボーイスカウト大阪連盟、(一社)ガールスカウト大阪府連盟、大阪府緑の少年団連盟
学校募金	各市町村教育委員会、大阪私立中学校高等学校連合会 他
家庭募金	大阪府内 43 市町村
職場募金 企業募金等	大阪府、大阪府警察本部、近畿中国森林管理局、大阪商工会議所、大阪府木材連合会、大阪商工信用金庫、大阪府生活協同組合連合会、大阪いずみ市民生活協同組合、ダイドードリンコ(株) 他

募金キャンペーン期間を設け、各団体による街頭募金を集中的に実施するとともに、府内各地で行われる各市町村や各種団体等の緑化関連イベント等で緑の募金活動を強化し、周知を図る。

＜キャンペーン期間＞ ・春季 2026 年 3 月 1 日～5 月 31 日

・秋季 2026 年 9 月 1 日～10 月 31 日

＜募金資材の整備＞

緑の募金運動および普及啓発の円滑な推進を図るため、2026 年秋用および 2027 年春用の募金資材を整備し活用する。

ただし募金収入の予測と、資材の価格高騰を受けて、オリジナルのピンバッジは 2027 年春用 1 回の製作とする。

また、資材配布時の配送料高騰を受け対策を検討する。

(2) 募金拡大(予算 20 千円)

多額の募金を行った個人、団体に謝意を表すとともに、募金者のメリット（環境貢献の証明、対外イメージアップ、団体構成員の意識の向上など）を付与することを目的に、協会独自の感謝状（トラスト感謝状）贈呈を開始する。同時に、協会ホームページにおいて感謝状の贈呈風景などを掲載し、高額寄付企業・団体のホームページのリンクを貼るなど、募金の動機付けの向上をはかる。

また、大阪に本拠地を置くプロスポーツチーム等とのコラボレーションを進め、幅広く情報を発信するとともに、企業からの問い合わせや寄付企画の申し込みなどに積極的な対応を行い、協力企業の拡大に努める。

2025 年から開始したキャッシュレス決済 PayPay 募金の普及に努める。また、オンライン募金ができる「つながる募金」や家庭に眠る物品の寄付(お宝エイド)物品寄付や遺贈による寄付等、多様な募金方法をホームページやイベント等で周知し、普及啓発を図る。

2. 緑化推進・森林の整備事業(予算 6,331 千円)

(1) 緑化事業等交付金(予算 3,198 千円)

募金活動に協力した団体や学校、企業による地域や学校の緑化を推進するため、集められた募金額の 40%を上限に、該当団体の申請に基づき緑化事業等交付金を交付する。

(2) 堺第7-3区「共生の森づくり」の推進 (予算 101 千円)

地球温暖化防止にかかる運動の一環として、堺第 7-3 区における市民・NPO 等が参加して実施されている「共生の森づくり」活動へ助成を行う。

(3) 生駒山系花屏風活動支援事業 (予算 903 千円)

生駒山系を屏風に見立てて彩豊かな“花屏風”を作る「生駒山系花屏風活動支援事業」への助成を行う。同事業を推進する生駒山系森づくりサポート協議会の活動や主催行事に参加し、緑の募金の PR を行う。

(4) 緑の少年団活動支援事業(予算 1,500 千円)

大阪府内の緑の少年団に対して活動助成を行うとともに、「子どもたちが緑や自然に触れ、森林や緑化に関する意識を高める」という目的に沿った連盟の運営・交流行事の開催が行われるよう、各国の自立を促しつつ大阪府緑の少年団連盟事務局として支援する。

(5) 緑化推進運営協議会の運営(予算 17 千円)

緑の募金の適切な運用を図るため有識者からなる緑化推進運営協議会を年 2 回以上開催する。

(6) 募金・緑化功労者の表彰(予算 4 千円)

募金額をもとに感謝状を贈呈する団体を選定し(公社)国土緑化推進機構に推薦する。

「大阪府みどりの功労者表彰」等、各種の表彰主催団体からの依頼をうけて推薦対象を選出し、推薦資料を作成・提出する。

(7) 国土緑化推進機構対応・中央交付金(予算 608 千円)

(公社)国土緑化推進機構に対して、中央交付金(広域的な森林整備や緑化の推進に活用される)として緑の募金の 2%相当額に 100 千円を加えた額を交付する。

3. 森林環境教育・森林 ESD の推進(予算 2,210 千円)

(1) みどりづくりの輪活動支援事業(予算 690 千円)

次世代を担う子どもたちが生物多様性や森林整備、木材の利用等について理解を深める機会となる活動の促進を図ることを目的に、子どもたちの参加による自然環境保全活動や緑化活動、森林整備活動、森林に関する学習等に助成を行う。また、これらの活動組立てや整備計画立案にあたり、専門家による助言を得られるよう、専門家の紹介や相談時の費用助成等の支援を行う。

(2) みどりの一歩事業(予算 1,100 千円)

幼稚園、保育園、こども園等で身近なみどりづくり(植樹)と環境教育「みどりの教室」を行う。

なお、募金収入予測から財源確保が難しいため、(公社)国土緑化推進機構による緑の募金助成に採択された場合に実施するものとする。

(3) 森林環境教育・森林 ESD の推進(予算 69 千円)

大阪府立中央図書館・林野庁近畿中国森林管理局等と連携し、森林環境教育・森林 ESD の普及啓発を目的としたパネル展等を実施する。

(4) 教育大学学生向け講習の企画・運営(予算 112 千円)

大阪教育大学、大阪森林インストラクター会等と連携し、教育大学学生を対象に森林 ESD を体験する講習を実施する。

(5) ポスターコンクールの実施(予算 239 千円)

国土緑化運動を推進するためのポスター原画コンクールに参加し、優秀作品を選出し表彰する。

4. 普及啓発事業(予算 402 千円)

(1) 会報誌・メールマガジンの発行(予算 150 千円)

前年度の事業報告と当該年度の事業計画をわかりやすく編集した年次報告書形式の会報誌「アニュアルレポート」を年 1 回 7 月頃に発行する。イベント情報や保全活動地の様子、緑の募金の活用方法等をまとめたメールマガジンを、会員や関係する団体や個人に月 1 回のペースで定期的に配信する。

(2) ホームページ・SNS の運営(予算 80 千円)

ホームページ、SNS (Facebook 及び Instagram) は会報誌やメールマガジンと連動させて、緑の募金のキャンペーン情報や助成事業についてタイムリーにお知らせする。また募金を活用して行われた事業の報告等を随時更新する。

(3) 普及啓発イベントへの参加(予算 100 千円)

緑の募金を活用して進める「生物多様性の保全」、「木材の利活用促進」、「森林 ESD の推進」等に関する府民の理解を深め、緑の募金への協力を呼び掛けるため、関連イベントへ出店しパネル展示等を行う。

イベント等の情報発信として、大阪府から配信するホームページ「まいのち」(2025 年 4 月から公開中) や、「おおさか生物多様性応援宣言団体」のメーリングリストを活用する。

(4) その他(予算 72 千円)

編集ソフトの年間使用料。

5. 推進事業体制の整備(予算 6,283 千円)

緑の募金事業推進に伴う事務所経費および人件費等、必要な事務的経費を支出する。

令和 8(2026)年度「緑の募金」収支予算

単位:千円

項目	① 2025年度 予算額	② 2025年度 決算見込み	③ 2026年度 予算額	前年度 予算対比 ③-①	2026予算 備考
I 収入の部					
1. 緑の募金収入	15,600	15,137	15,300	△ 300	
2. 助成金等収入(受取受託金)	0	0	50	50	
3. 運用財産利息収入	0	1	1	1	
4. 民間補助金	1,720	1,601	2,100	380	国土緑推助成金(緑の少年団100万円とみどりの一歩事業等110万円)
5. 雑収入	0	0	0	0	
当期収入合計(A)	17,320	16,739	17,451	131	
前期繰越収入差額(B)	△ 4,237	△ 4,239	△ 4,239	△ 2	
収入合計(C)=(A)+(B)	13,083	12,500	13,212	129	
II 支出の部					
1. 緑の募金推進事業					
募金活動推進	2,167	2,142	2,205	38	資材整備他。募金収入に相応
募金拡大	5	37	20	15	
小計	2,172	2,180	2,225	53	
2. 緑化推進・森林の整備事業					
緑化事業等交付金	3,400	3,141	3,198	△ 202	募金額の約21%
堺第7-3区「共生の森づくり」推進	102	102	101	△ 1	
生駒山系花屏風活動支援事業	734	863	903	169	使途指定募金額に相応
緑の少年団活動支援事業	1,500	1,477	1,500	0	緑の募金から50万円+助成金100万円
緑化推進運営協議会の運営	23	24	17	△ 6	2回開催
募金・緑化功労者の表彰	4	16	4	0	
国土緑化推進機構対応・中央交付金	757	594	608	△ 149	中央交付金の算定方法変更
小計	6,520	6,217	6,331	△ 189	
3. 森林環境教育・森林ESD推進事業					
みどりづくりの輪活動支援事業	688	491	690	2	活動支援を4件予定。専門家の紹介や相談時の費用助成を5件予定
みどりの一歩事業(平和の緑づくり事業)	870	751	1,100	230	民間補助金に相応
森林環境教育・ESD推進	68	78	69	1	
教育大学学生向け講習の企画・運営	130	119	112	△ 18	
ポスターコンクールの実施	226	239	239	13	
小計	1,982	1,679	2,210	228	
4. 普及啓発事業					
会報誌・メールマガジンの発行	154	132	150	△ 4	
ホームページ・SNSの運営	79	80	80	1	
普及啓発イベントへの参加	98	73	100	2	
その他	65	72	72	7	PCソフトライセンス料等
小計	396	356	402	6	
5. 推進事務費	6,250	6,308	6,283	33	
当期支出合計(D)	17,320	16,739	17,451	131	
当期収支差額(A)-(D)	0	0	0		
次期繰り越し収支差額(C)-(D)	△ 4,237	△ 4,239	△ 4,239		

貸 借 対 照 表 (案)

(2026年3月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部	円	円	
1 流動資産			
現金預金	10,254,381	6,488,186	3,766,195
未収金	2,333,628	4,833,731	△ 2,500,103
立替金	14,893	374,587	△ 359,694
前払金	288,594	322,314	△ 33,720
流動資産合計	12,891,496	12,018,818	872,678
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,310,418	3,310,418	0
普通預金	19,592	19,592	0
投資有価証券	186,129,480	214,880,220	△ 28,750,740
基本財産合計	189,459,490	218,210,230	△ 28,750,740
(2) 特定資産			
トラストファンド			
普通預金	2,001,540	1,380,040	621,500
投資有価証券	19,408,400	20,691,000	△ 1,282,600
トラストファンド合計	21,409,940	22,071,040	△ 661,100
公益充実資金			
地黄湿地保全事業準備資金			
普通預金	0	755,472	△ 755,472
大阪里山ネットワーク運営準備資金			
普通預金	2,032,988	2,440,161	△ 407,173
公益充実資金合計	2,032,988	3,195,633	△ 1,162,645
構築物 (三草山防鹿柵及びオートクローザードア)	5,115,714	3,406,767	1,708,947
特定資産合計	28,558,642	28,673,440	△ 114,798
(3) その他固定資産			
備品	123,973	46,085	77,888
車両	1	1	0
長期前払費用	8,830	8,830	0
立木	1,023,000	1,023,000	0
その他固定資産合計	1,155,804	1,077,916	77,888
固定資産合計	219,173,936	247,961,586	△ 28,787,650
資産合計	232,065,432	259,980,404	△ 27,914,972
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	8,433,738	7,481,444	952,294
前受金	424,000	456,000	△ 32,000
預り金	43,087	43,901	△ 814
流動負債合計	8,900,825	7,981,345	919,480
負債合計	8,900,825	7,981,345	919,480
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
大阪府出捐金	100,000,000	100,000,000	0
寄附金	126,341,618	126,341,618	0
有価証券評価差額	△ 36,882,128	△ 8,131,388	△ 28,750,740
基本財産合計	189,459,490	218,210,230	△ 28,750,740
ブナの森トラストファンド	13,487,906	14,118,944	△ 631,038
ゼフィルス森トラストファンド	7,922,034	7,952,096	△ 30,062
トラストファンド合計	21,409,940	22,071,040	△ 661,100
民間補助金	5,115,714	3,406,767	1,708,947
指定正味財産合計	215,985,144	243,688,037	△ 27,702,893
(うち基本財産への充当額)	(189,459,490)	(218,210,230)	△ 28,750,740
(うちトラストファンドへの充当額)	(21,409,940)	(22,071,040)	△ 661,100
(うち構築物への充当額)	(5,115,714)	(3,406,767)	1,708,947
(うち公益充実資金への充当額)	(0)	(0)	0
2 一般正味財産	7,179,463	8,311,022	△ 1,131,559
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うちトラストファンドへの充当額)	(0)	(0)	0
(うち構築物への充当額)	(0)	(0)	0
(うち公益充実資金への充当額)	(2,032,988)	(3,195,633)	△ 1,162,645
正味財産合計	223,164,607	251,999,059	△ 28,834,452
負債及び正味財産合計	232,065,432	259,980,404	△ 27,914,972

正味財産増減計算書内訳表(案)

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合計
	公 1 自然環境保全事業	公 2 緑の募金事業	共 通	小 計		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	0	0	0	0	3,581,275	3,581,275
基本財産受取利息	0	0	0	0	3,581,275	3,581,275
特定資産運用益	48,400	0	0	48,400	0	48,400
特定資産受取利息	48,400	0	0	48,400	0	48,400
受取会費	959,000	0	0	959,000	0	959,000
会員受取会費	959,000	0	0	959,000	0	959,000
受取補助金等	26,765,303	1,538,628	0	28,303,931	0	28,303,931
受取国庫補助金	6,435,250	0	0	6,435,250	0	6,435,250
受取地方公共団体補助金	11,119,000	0	0	11,119,000	0	11,119,000
受取民間補助金	3,200,000	1,538,628	0	4,738,628	0	4,738,628
受取受託金	4,620,000	0	0	4,620,000	0	4,620,000
指定正味財産からの振替額	1,391,053	0	0	1,391,053	0	1,391,053
受取負担金	910,468	0	0	910,468	0	910,468
受取負担金	910,468	0	0	910,468	0	910,468
受取寄付金	1,351,254	14,593,988	0	15,945,242	0	15,945,242
受取寄付金	1,351,254	0	0	1,351,254	0	1,351,254
募金収益	0	14,593,988	0	14,593,988	0	14,593,988
雑収益	114,493	4,374	0	118,867	17,692	136,559
受取利息	0	2,156	0	2,156	16,953	19,109
雑収益	114,493	2,218	0	116,711	739	117,450
経常収益計	30,148,918	16,136,990	0	46,285,908	3,598,967	49,884,875
(2) 経常費用						
事業費	31,291,146	16,141,129	0	47,432,275		47,432,275
役員報酬	936,000	234,000	0	1,170,000		1,170,000
給料手当	11,552,389	3,701,875	0	15,254,264		15,254,264
福利厚生費	1,555,881	561,000	0	2,116,881		2,116,881
会議費	1,995	8,000	0	9,995		9,995
旅費交通費	1,384,401	184,960	0	1,569,361		1,569,361
通信運搬費	437,469	596,951	0	1,034,420		1,034,420
減価償却費	354,845	0	0	354,845		354,845
消耗品費	1,952,791	1,947,879	0	3,900,670		3,900,670
印刷製本費	228,330	268,068	0	496,398		496,398
燃料費	124,846	26,133	0	150,979		150,979
賃借料	3,327,811	989,754	0	4,317,565		4,317,565
保険料	578,638	6,058	0	584,696		584,696
使用料	501,878	217,338	0	719,216		719,216
委託費	4,518,261	425,661	0	4,943,922		4,943,922
募金事務費	0	139,620	0	139,620		139,620
広告宣伝費	25,488	0	0	25,488		25,488
諸謝金	1,577,400	151,000	0	1,728,400		1,728,400
支払負担金	1,286,197	180,076	0	1,466,273		1,466,273
支払助成金	623,173	2,831,434	0	3,454,607		3,454,607
支払手数料	262,977	165,415	0	428,392		428,392
緑化事業等交付金	0	3,505,107	0	3,505,107		3,505,107
光熱水費	9,876	0	0	9,876		9,876
租税公課	50,500	800	0	51,300		51,300
管理費					3,584,159	3,584,159
役員報酬					1,270,000	1,270,000
給料手当					841,371	841,371
福利厚生費					317,806	317,806
旅費交通費					16,440	16,440
通信運搬費					62,134	62,134
消耗品費					96,406	96,406
印刷製本費					49,280	49,280
賃借料					324,417	324,417
保険料					44,000	44,000
使用料					229,659	229,659
委託費					132,000	132,000
支払負担金					72,016	72,016
支払手数料					127,530	127,530
租税公課					1,100	1,100
経常費用計	31,291,146	16,141,129	0	47,432,275	3,584,159	51,016,434
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 1,142,228	▲ 4,139	0	▲ 1,146,367	14,808	▲ 1,131,559
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	▲ 1,142,228	▲ 4,139	0	▲ 1,146,367	14,808	▲ 1,131,559
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	▲ 1,142,228	▲ 4,139	0	▲ 1,146,367	14,808	▲ 1,131,559
他会計振替額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 1,142,228	▲ 4,139	0	▲ 1,146,367	14,808	▲ 1,131,559
一般正味財産期首残高	12,450,711	▲ 4,238,675	0	8,212,036	98,986	8,311,022
一般正味財産期末残高	11,308,483	▲ 4,242,814	0	7,065,669	113,794	7,179,463
II 指定正味財産増減の部						
受取補助金等	1,708,947	0	0	1,708,947	0	1,708,947
受取民間補助金	3,100,000	0	0	3,100,000	0	3,100,000
一般正味財産への振替額	▲ 1,391,053	0	0	▲ 1,391,053	0	▲ 1,391,053
受取寄付金	621,500	0	0	621,500	0	621,500
基本財産評価損益	0	0	0	0	▲ 28,750,740	▲ 28,750,740
特定資産評価損益	▲ 1,282,600	0	0	▲ 1,282,600	0	▲ 1,282,600
当期指定正味財産増減額	1,047,847	0	0	1,047,847	▲ 28,750,740	▲ 27,702,893
指定正味財産期首残高	25,477,807	0	0	25,477,807	218,210,230	243,688,037
指定正味財産期末残高	26,525,654	0	0	26,525,654	189,459,490	215,985,144
III 正味財産期末残高	37,834,137	▲ 4,242,814	0	33,591,323	189,573,284	223,164,607